

児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準 東京ミニマム

※ 網掛けは指導基準に含まれないが関連する内容

国語

国語の指導基準		1・2年	3・4年	5・6年	
全般	解知・識・技・能理 文のつくり	○ 「主語と述語との関係」や「修飾と被修飾との関係」が分かる。	○ 主語に当たる部分と述語に当たる部分を互いに対応させて、話したり書いたりできる。	○ 修飾と被修飾との関係や文の構成に注意して、話したり書いたりできる。	◎ 文のつくりについての知識・理解・技能を繰り返し確認し、話したり書いたりすることができる。
	語句	○ 目的に応じて必要な語句を調べるができる。	○ よく分からない語句を見付け、たずねることができる。	○ 語句の意味や使い方を調べることができる。	○ 語句の意味や使い方を調べることが、習慣として身に付いている。
話すこと・聞くこと	解知・識・能理 話し方	○ 発音、音量、速さなどに留意して話すことができる。	○ 姿勢や口形に気を付けて明瞭な発音で話すことができる。	○ 学級全体に話すときと、グループで話すときの音量、速さに注意して話すことができる。	
	言葉遣い	○ 相手や場に応じて、丁寧な言葉遣いで話すことができる。	○ 普通の言葉遣いと丁寧な言葉遣いの違いに気付く。	○ 相手や場に応じて、丁寧な言葉遣いで話すことができる。	○ 相手や場に応じて、日常よく使われる敬語を用いて話すことができる。
読むこと	力言葉を使いこなす 話題をとらえて話し合う力	○ 話題に対する自分の考えを話したり相手の考えを聞いたりして、話し合いができる。	○ 経験したことのある話題について、自分の考えをもつことができる。 ○ 自分の考えの中から伝えたい事柄を選び、話すことができる。 ○ 分からない点はないか、気を付けて聞くことができる。 ○ かわるがわる話し、分からないことをたずねたり答えたりできる。	○ 具体的な話題について、自分の考えをもつことができる。 ○ 自分の考えとその理由を話すことができる。 ○ 自分の考えと比べながら聞くことができる。 ○ 順序よく発表し、互いの考えを知ることができる。	◎ 解決すべき問題について、自分の意見をもつことができる。 ◎ 事実と意見を区別して話すことができる。 ◎ 相手の考えの理由に着目して聞くことができる。 ◎ 発表された意見を比較して、意見をまとめることができる。
	解知・識・能理 文章のつくり	○ 段落や接続の関係が分かる。	○ いくつかの文で、一つの内容を表すことができることに気付く。	○ 段落は、いくつかの文が集まって一つの内容を表していることが分かる。	○ 文章は、いくつかの段落がつながってできていることが分かる。
書くこと	文章のつくり	○ 必要な漢字を調べるができる。	○ 分からない漢字をたずねることができる。	○ 分からない漢字を調べるができる。	○ 分からない漢字の意味を「へん」や「つくり」などから、類推することができる。
	言葉を使いこなす力 書く事柄を明らかにする力	○ 伝えたい事柄を明らかにすることができる。	○ 実際に見たことや聞いたことなどを手がかりにして、伝えたい事柄を見付けることができる。	○ 疑問に思ったことや、感動したことなどを手がかりにして、伝えたい事柄を見付けることができる。	○ 相手に応じて、報告、説明、紹介などの視点を手がかりにして、伝えたい事柄を明らかにすることができる。
	文章を組み立てる力	○ 文と文をつなげて、文章を組み立てることができる。	○ 主語にあたる部分と述語にあたる部分を互いに対応させて、文を書くことができる。	○ いくつかの文をつなげ、段落をつつて書くことができる。	○ 段落と段落をつなげ、文章全体を組み立てて、書くことができる。
読むこと	文章を見直す力	○ 伝えたい事柄が正しく書けているか、見直すことができる。	○ 伝えたい事柄が書けているか、自分の書いた文を読み返すことができる。	○ 伝えたい事柄が書けているか見直し、間違いを直すことができる。	◎ 伝えたい事柄が書けているか確かめ、文章の組立を改めることができる。
	す言葉を使いこなす力 大体の意味をとらえる力	○ 文章を読み、できごとや筆者の考えのあらましを理解することができる。	○ 正しく行をたどり、文章全体を読むことができる。	○ 人物の行動に基づいて場面の様子をとらえることができる。 ○ それぞれの段落に共通する語句をとらえることができる。	○ 人物の行動や心情の変化をとらえることができる。 ○ 筆者の考えとその理由をとらえることができる。
読むこと	文章を読み考える力	○ 文章を読み、自分の考えを持つことができる。	○ 文章を読み、好きなところやおもしろいところを見付けることができる。	○ 文章を読み、自分の経験などと比べながら考えをもつ。	○ 文章を読み、理由を明らかにして自分の考えをもつ。

算数

算数の指導基準		1年	2年	3年	4年	5年	6年
考え方	数のいろいろな見方	○ 10の合成・分解ができる。 ○ 十を単位とする見方ができる。	○ 百や千を単位とする見方ができる。 ○ 一つの数をほかの数の積としてみるができる。	○ 千や万を単位とする見方ができる。 ○ 10や100を単位として、たし算ができる。			
	計算の見積り	○ およその数で計算し、結果の確かめをすることができる。	○ 2位数のたし算及びひき算における和や差の見積りができる。	○ 3位数のたし算及びひき算における和や差の見積りができる。 ○ 2位数、3位数×1位数及び2位数×2位数のかけ算の積の見積りができる。	○ わり算の計算において商を見積もることができる。 ○ 目的に応じて、和、差を概数で見積もる。 ○ 目的に応じて、積、商を概数で見積もる。		
数と計算	繰り下がりのあるひき算	○ 繰り下がりのある3位数までのひき算ができる。	○ 10の合成・分解ができる。 ○ 和が10以下のたし算の逆のひき算の計算ができる。 ○ 和が10以上のたし算の逆のひき算の計算ができる。	○ 2位数のひき算ができる。	○ 3位数のひき算ができる。		
	かけ算	○ かけ算の意味やきまりが分かる。 ○ かけ算九九を用いて、1位数と1位数のかけ算ができる。	○ かけ算の意味が分かる。 ○ かけ算のきまりが分かる。 ○ かけ算九九を暗唱することができる。	○ かける数が1減ると、積はかけられる数の分だけ減ることが分かる。 ○ 12×3の計算の答えは、10×3と2×3を合わせた数になることが分かる。 ◎ わり算は、以下の2つの場合に用いられることが分かる。 ◎ わり算はかけ算の逆算であることが分かる。			

算 数	量と測定	分数	○分数で表された数量の意味がわかる ○簡単な分数の計算ができる	(○4分の1や2分の1などの簡単な分数の意味や表し方が分かる。)	○分数の意味や表し方が分かる。 ○同分母分数の加法・減法の意味が分かる。	○同分母分数の加法・減法の仕方が分かる計算ができる。 ○大ききの等しい分数があることが分かる。	○異分母分数の加法・減法の仕方が分かる計算ができる。 ○小数を分数で表したり、分数を小数で表したりすることができる。 ○整数の除法の結果を分数で表せることが分かる。 ○乗数・除数が整数である分数の乗法・除法の計算の仕方が分かる計算できる。	(○分数の乗法・除法の計算の仕方が分かる計算できる。 ○整数で成り立つ計算法則が分数でも成り立つことが分かる。)	
		考え方	量の大きさについての見当づけ	○いろいろな量について、およその見当をつけることができる。	○長さを測定する際に、10cmや1mを基にして、およその長さの見当を付けることができる。 ○かさや測定する際に、1ℓを基にして、およそのかさの見当を付けることができる。	○重さを測定する際に、1kgを基にして、およその重さの見当を付けることができる。	○角の大きさを測定する際に、90°より大きいか小さいかを判断できる。		
	知識・理解・技能	測定の技能	○長さ、かさ、重さなどについて測定することができたり、時刻をよむことができたりする。 ○単位を適切に用いて、測定した量の大きさを表すことができる。	○時計を見て、時刻を読むことができる。	○ものさしを適切に用いて、長さの測定をすることができる。 ○1ℓマスや1dℓマスを適切に用いて、かさの測定をすることができる。	○巻き尺を適切に用いて、長さの測定をすることができる。 ○はかりを適切に用いて、重さの測定をすることができる。	○分度器を適切に用いて、角の大きさを測定することができる。		
							○正方形、長方形の面積を、公式を使って求めることができる。	○立方体及び直方体の体積を、公式を使って求めることができる。	○円の面積を、公式を使って求めることができる。
	図形	考え方	いろいろな観点からの図形の見方	○辺や頂点、角などの観点から図形をみて考える	(◇三角形は、3本の直線で囲まれていることが分かる。 ◇四角形は、4本の直線で囲まれていることが分かる。)				
		知識・理解・技能	作図	○定規やコンパスなどを使って、基本的な図形を作図できる。;	○定規を正しく使い、直線を引くことができる。 ○方眼紙上に、正方形、長方形をかくことができる。	○定規やコンパスを正しく使い、二等辺三角形や正三角形を作図できる。 ○コンパスを正しく使い、円を作図できる。			
	数量関係	考え方	変化の様子への着目	○伴って変わる二量の間には、何かきまりがありそうだと考えることができる。	(◇かける数が1増えると、積はかけられる数の分だけ増えることが分かる。)	(◇かける数が1減ると、積はかけられる数の分だけ減ることが分かる。)	○一方の数量が変化し、もう一方の数量も変化するとき、何かきまりがありそうだと考えることができる。		
			割合の見方	○全体と部分とを関係付けて考えることができる。				○全体と部分とを関係付けて、考えることができる。	
		知識・理解・技能	式の意味のよみ	○いろいろな場面を式に表した場合に、その式の意味が分かる。	○たし算やひき算の場面を式に表した場合に、その式の意味が分かる。	○かけ算の場面を式に表した場合に、その式の意味が分かる。	○わり算の場面を式に表した場合に、その式の意味が分かる。		
			比例	○一方が2倍、3倍になると、もう一方も2倍、3倍に変化することが分かる。	(◇かけ算において、かける数が変化すると、積も変化することが分かる。)	(◇かけ算において、かける数が変化すると、積も変化することが分かる。)	○伴って変化する二量に関係があることが分かる。	○比例の意味が分かる。	
数と計算(中学へ向け)	知識・理解・技能	正負の数	(○正の数・負の数大きさや意味について理解し計算ができる。)		(◇小数について理解し、加法及び減法ができる。 ◇分数について理解する。)	(◇小数の乗法及び除法ができる ◇同分母分数の加法及び減法ができる。)	(◇異分母分数の加法及び減法ができる。 ◇分数×整数や分数÷整数の等の計算ができる。)	(◇分数の乗法及び除法ができる。 ◇分数・小数が混じった計算ができる。)	
		文字を含む式の計算	(○文字式や方程式の計算ができる)			(◇伴って変わる二つの数量で、□、△などを用いて、式に表現することができる。)			